

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

あ

男子 女子 1回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸

A コート

チーム名				チーム名			

記載者氏名_____

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

い

男子 ・女子 1回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸

Bコート

チーム名				チーム名			
総得点				総得点			
県立横浜平沼高等学校	18	[	7	—	14	]	24
			11	—	10		
			—				
			—				
			—				
7mTC							
名古屋経済大学市邨高等学校				名古屋経済大学市邨高等学校			

神奈川県代表、3年ぶり3回目の出場となる県立横浜平沼高校と、愛知県代表、7年連続15回目の出場となる名古屋経済市邨高校の対戦。横浜平沼のスローオフで試合開始。先制点を取ったのは、横浜平沼、②岡田のセンターからのミドルシュートが決まる。名経大市邨も速攻ですぐに反撃し同点。その後は、スピードにまさる名経大市邨が得点を重ね6分50秒経過時点で、4対1。横浜平沼はタイムアウトを取るが、流れは変わらず16分23秒経過時点で9対2。たまたま2回目のタイムアウトを取ると、徐々にペースを取り戻し反撃する。結局、前半は14対7名経大市邨リードで終了した。

後半開始。まず名経大市邨⑧河田がミドルシュートを決める。横浜平沼も必死のDEFで食らいつくが、名経大市邨⑩がDEFの枝間からステップシュートを決める。その後も両者譲らず一進一退の熱い攻防が続き、18分経過時点で21対15。名経大市邨は徐々に横浜平沼の粘り強い反撃に押され気味になるが、序盤の点差のおかげでなんとか24対18で逃げ切った。

H30年3月24日

記載者氏名 正田 慎

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

あ

男子 ・ 女子 1 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館

コート

チーム名				チーム名			
	総得点			総得点			
県立松山工業	26	[	11	—	18	]	33
			15	—	15		
				—			
				—			
				—			
			7mTC				
							高岡向陵

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男か

男子・女子 1 回戦・準々決勝・準決勝・決勝

会場 神戸国際大学附属高等学校

チーム名	総得点		総得点	チーム名
興南高校	28	18 10 — — — — 7mTC	5 11 — — — —	國學院栃木高校

第41回選抜大会の開幕カード。名門興南高校と、強豪ひしめく関東予選を勝ち上がってきた國學院

栃木の一戦。興南のスローオフ。開始31秒、7番伊禮のカットインで幸先よく先制。國學院も相手

のミスからの速攻ですぐさま取り返すも、興南は17番池間、8番慶田花らの得点で一挙5連打。リー

ドを広げる。國學院もT0後、退場者を出した興南に対し3番永吉のサイドシュート、9番齋藤のミド

ルなどで食い下がるが、興南GK西原の好セーブで流れを渡さない。興南は前半15分51秒の伊禮の

7mTを皮切りに、6番石渡、8番慶田花、17番池間、2番根路銘らで怒涛の10連打。17分間國學院に

得点を許さない鉄壁の守りも見せ、18対5で前半を終える。後半立ち上がり、國學院は9番齋藤、4

番舘野で3連取。流れを掴みたいが興南も13番新垣、14番宮城らの得点ですぐさま反撃。國學院7

番白田の強烈なステップシュート、12番GK高山の再三の好セーブなどで後半は拮抗した展開。速攻

などで加点していくが、前半の大量リードを生かし、メンバーを変えながら終始落ち着いたゲーム運

びを見せた興南が、2回戦へと駒を進めた。

30年 3月24日

記載者氏名 山本 紘輝